

## 再評価結果（平成27年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：茅野 牧夫

<b>事業名</b> 一般国道57号 <small>おおのたけたどうろ</small> 大野竹田道路	<b>事業区分</b>	一般国道	<b>事業主体</b>	国土交通省 九州地方整備局
<b>起終点</b> 自：大分県豊後大野市大野町田中 <small>ぶんごおおのしおおのまちたなか</small> 至：大分県竹田市大字会々 <small>たけたしおおあざあいあい</small>				延長  12.3km
<b>事業概要</b> 大野竹田道路は、中九州横断道路の一部を形成し、大分市～熊本市間の広域的な連携を図り、沿線地域の産業発展や地域活性化等に貢献する道路である。				
H12年度着工準備 (H18年度事業化)	H一年度都市計画決定 (H一年度変更)	H20年度用地着手	H20年度工事着手	
全体事業費	約376億円	事業進捗率	59%	供用済延長
計画交通量	10,400～12,300台/日			
<b>費用対効果分析結果</b>	B/C <small>(事業全体)</small> 1.2  <small>(残事業)</small> 1.9	総費用 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 106/411億円 事業費：89/376億円 維持管理費：17/36億円	総便益 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 198/494億円 走行時間短縮便益：145/371億円 走行経費減少便益：31/68億円 交通事故減少便益：23/54億円	基準年 平成26年
<b>感度分析の結果</b> 【事業全体】交通量：B/C=1.1～1.3（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.2～1.2（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.2～1.2（事業期間±20%） 【残事業】交通量：B/C=1.6～2.1（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.7～2.0（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.8～1.9（事業期間±20%）				
<b>事業の効果等</b>				
①広域交通ネットワークの形成 ・沿線各都市間の所要時間短縮により、大分市と熊本市の交流促進及び高速定時性の確保 ②交通安全性の向上 ・線形不良箇所の回避が可能となり、交通安全性が向上 ③救急医療活動の支援 ・第三次救急医療施設（アルメイダ病院）からの60分圏域カバー人口拡大及び救急搬送時間短縮による救命率の向上 ④観光産業の支援 ・観光地までの移動円滑化に伴う観光入込客数の増加 ⑤生活環境の改善 ・自動車の走行性向上による環境への影響低減（CO <sub>2</sub> , NO <sub>2</sub> , SPM削減）				
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 竹田市をはじめとする3市で構成される①中九州・地域高規格道路促進期成会（会長：竹田市長）、中九州横断道路沿線市で構成される②豊肥・地域高規格道路促進期成会（会長：豊後大野市長）により早期整備の要望を受けている。（①平成25年7月、②平成26年8月）				
<b>県の意見</b> 当該道路は大分と熊本両県の交流を促進し、沿線地域の産業発展、地域活性化を支える道路であり、また、災害時には信頼性の高い道路として必要不可欠な道路であることから、事業の継続をお願いするとともに、早期完成に向け所要の予算の確保をお願いします。				
<b>事業評価監視委員会の意見</b> 審議の結果、事業継続。				

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

沿線地域の人口は減少傾向。沿線地域の一帯あたりの自動車保有台数は大分県及び九州全体よりも多い。国道57号現道の交通量は増加傾向。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成18年度に事業化、用地進捗率94%、事業進捗率59%（平成26年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

地元や関係機関との協力体制のもと、今後も引き続き残工事等の事業進捗を図っていく。

平成26年度：大野IC～朝地IC間 延長6.3km（2/2）開通予定

平成30年度：朝地IC～（仮称）竹田IC間 延長6.0km（2/2）開通予定

施設の構造や工法の変更等

- ・盛土材改良の増 【約37億円増】
- ・切土法面対策工の見直し 【約13億円増】
- ・発生土搬出場所の見直し 【約4億円増】
- ・補強土壁の壁面パネル大型化 【約1億円減】

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。